

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価				
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	耐震補強工事により、教育環境の改善及び園児の安全確保という事業の目的が達成されるため、必要性は高いです。 ● 高 ○ 低	園舎の耐震性を高め、災害時の倒壊を防止することで、園児の安全が確保されるため、本事業は市民満足度を高める有効性は高いです。 ● 高 ○ 低	園舎の耐震性能を確保することで、園児の安全を確保することから妥当性は高いです。 ● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 耐震診断の結果、新耐震設計基準を満たさない4園(さくら幼稚園、土屋幼稚園、金目幼稚園、港幼稚園)について、今後、耐震補強設計及び耐震補強工事を計画的に推進することが必要です。								

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容				耐震診断委託	耐震補強設計に伴う計画・打合せ	耐震補強設計	耐震補強設計、耐震補強工事	耐震補強設計、耐震補強工事
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	8,368	0	4,000	93,500	73,700
事業費(A)		0	0	8,368	0	4,000	93,500	73,700
執行率(%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員(人)	0.00	0.00	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	0	3,357	1,672	1,672	1,672	1,672
フルコスト(A+B)		0	0	11,725	1,672	5,672	95,172	75,372

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 耐震診断の結果、新耐震設計基準を満たさない4園については、今後、耐震補強工事を行います。	
平成22年度の実行方針	
耐震補強設計を予定しています。	
課長コメント	耐震診断の結果、新耐震設計基準を満たさない園舎が4園ありますので、今後、耐震補強設計及び耐震補強工事を計画的に実施していきたいと考えます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	—	①：予定どおり
主な取組と成果			耐震診断5園（さくら幼稚園、ひばり幼稚園、土屋幼稚園、金目幼稚園、港幼稚園）を実施しました。
検証結果	—	—	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		現在の耐震基準を満足しているのかの検討をはじめ、計画的な事業の推進が必要である。	耐震診断の結果、新耐震設計基準を満たさない4園（さくら幼稚園、土屋幼稚園、金目幼稚園、港幼稚園）について、今後、耐震補強設計及び耐震補強工事を計画的に推進することが必要です。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	拡大して継続
取組方針			耐震補強設計を予定しています。
事業区分	—	事務事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。